

- 7) K. Ogura, T. Nishiyama, H. Nakano, and T. Watabe: Sulfation of Phytoestrogens and Phenolic Endocrine-disrupting Chemicals by Human Sulfotransferases. 9th International Congress of Toxicology, 2001, 7/8, Brisbane, Australia.
- 8) A. Hiratsuka, H. Saito, and T. Watabe. 9th International Congress of Toxicology, 2001, 7/8, Brisbane, Australia.
- 9) T. Watabe: A Molecular Mechanism of Lethal Interactions of 5-FU Prodrugs with the New Antiviral Drug, Sorivudine, and Genetic Problems on Anticancer Chemotherapy. US-Japan Conference on Drug Development and Rational Drug Therapy, 2001, 8/6, 東京.
- 10) 小倉健一郎, 中野浩明, 西山貴仁, 渡部 烈: 植物エストロゲン daidzein および genistein のヒト肝 sulfotransferase による位置選択的硫酸抱合反応. 第16回 日本薬物動態学会年会, 2001, 10/17, 神戸.
- 11) 斉藤 博, 平塚 明, 渡部 烈: 4-Hydroxy-2(E)-nonenal エナンチオマーにより引き起こされる Clone 9 細胞に対する細胞毒性. 第16回日本薬物動態学会年会, 2001, 10/17, 神戸.
- 12) 王 延明, 平塚 明, 渡部 烈: モルモット肝 Theta クラス glutathione S-transferase の分子クローニングとその諸性質. 第16回日本薬物動態学会年会, 2001, 10/17, 神戸.
- 13) 大沼友和, 小倉健一郎, 西山貴仁, 渡部 烈: 乳癌治療薬 tamoxifen の活性代謝物 4-hydroxy-tamoxifen の幾何選択的なグルクロン酸抱合ならびに硫酸抱合反応. 第74回日本生化学会大会, 2001, 10/25, 京都.
- 14) 小倉健一郎, 原田朋和, 中野浩明, 西山貴仁, 渡部 烈: ヒト肝 sulfotransferase による植物エストロゲン daidzein および genistein の硫酸抱合反応. 第74回日本生化学会大会, 2001, 10/25, 京都.
- 15) 斉藤 博, 平塚 明, 渡部 烈: ラット Clone 9 細胞における 4-hydroxy-2(E)-nonenal エナンチオマーの細胞毒性. 第74回日本生化学会大会, 2001, 10/25, 京都.
- 16) 平塚 明, 飛田剛一, 渡部 烈: モルモット肝 glutathione S-transferase による 4-hydroxy-2(E)-nonenal エナンチオマーの(S)-優先的な解毒反応. 第74回日本生化学会大会, 2001, 10/25, 京都.

漢 方 診 断 学

客員教授	柴原直利
客員教授(前)	伊藤隆
客員助教授	喜多敏明
客員助教授	後藤博三
寄付研究部門教員	伏見裕利

◆ 著 書

- 1) 喜多敏明: やさしい漢方理論. 医歯薬出版, 東京, 2001.
- 2) 後藤博三, 寺澤捷年: 漢方薬. 治療薬便覧2001, メディカルレビュー社, 東京, pp706-708, 2001.
- 3) 後藤博三, 寺澤捷年: 歯科医師・歯科衛生士のための舌診入門. Dental Review別冊, (株)ヒョーロン, 東京, pp46-53, 2001.

◆ 原 著

- 1) Goto H., Yang Q., Kita T., Hikiami H., Shimada Y. and Terasawa K.: Effects of Choto-san on microcirculation, serum nitric oxide and lipid peroxides in patients with asymptomatic cerebral infarction. Am. J. Chin. Med. 29:83-89, 2001.
- 2) Shimada Y., Goto H., Kogure T., Shibahara N., Sakakibara I., Sasaki H. and Terasawa K.: Protective effect of phenolic compounds isolated from the hooks and stems of *Uncaria sinensis* on glutamate-induced neuronal death. Am. J. Chin. Med. 29:173-180, 2001.
- 3) Sakai S., Ochiai H., Mantani N., Kogure T., Shibahara N. and Terasawa K.: Administration of isoferulic acid improved the survival rate of lethal influenza virus pneumonia in mice. Mediators of Inflammation 10:93-96, 2001.
- 4) Kasahara Y., Goto H, Shimada Y., Sekiya N., Yang Q. and Terasawa K.: Effect of Keishi-bukuryo-gan on endothelial function in spontaneously hypertensive rats. J. Trad. Med. 18:113-117, 2001.
- 5) Cao H., Sasaki Y., Fushimi H. and Komatsu K.: Molecular analysis of medicinally-used Chinese and Japanese Curcuma based on 18S rRNA gene and trnK gene sequences. Biol. Pharm. Bull. 24(12):1389-1394, 2001.
- 6) Cao H., Liu Y., Fushimi H. and Komatsu

- K.: Identification of Notoginseng (Panax notoginseng) and its adulterants using DNA sequencing. *Zhong Yao Cai*:398-402, 2001.
- 7) Komatsu K., Zhu S., Fushimi H., Tran KQ., Cai SQ. and Kadota S.: Phylogenetic analysis based on 18S rRNA gene and matK gene sequences of Panax vietnamensis and five related species. *Planta Medica* 67:461-465, 2001.
 - 8) Amagaya S., Iizuka A., Makino B., Kubo M., Komatsu Y., Cheng FC., Ruo TI., Itoh T. and Terasawa K.: General pharmacological properties of Sho-seiryu-to (TJ-19) extracts. *Phytomed.* 8:338-347, 2001.
 - 9) 伏見裕利, 難波恒雄, 小松かつ子: 漢薬「滑石」の品質評価に関する基礎研究. *Natural Medicines* 55(4):193-200, 2001.
 - 10) 御影雅幸, 長嶋麻由子, 吉光見稚代, 伏見裕利: アーユルヴェーダ薬Kshara (アルカリ剤) の研究 (1) *Achyranthes aspera* L. 由来のスリランカ産Ksharaについて. *J. Trad. Med.* 18:177-181, 2001.
 - 11) 伊藤 隆, 喜多敏明, 柴原直利, 伏見裕利, 嶋田豊, 小松かつ子, 寺澤捷年: 外来見学実習を主とした漢方医学研修に関するアンケート調査, *医学教育* 32(1):31-38, 2001.
 - 12) 貝沼茂三郎, 今井一彰, 古田一史, 三瀧忠道, 伊藤 隆, 寺澤捷年: インターフェロン製剤による疑似太陽病 (実証) とその脈候について. *日本東洋医学雑誌* 52:39-43, 2001.
 - 13) 萬谷直樹, 松田治己, 田原英一, 酒井伸也, 小暮敏明, 後藤博三, 柴原直利, 喜多敏明, 新谷卓弘, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 漢方薬に対するリンパ球幼若化試験の信頼性に関する予備的研究. *日本東洋医学雑誌* 51(5):1093-1099, 2001.
 - 14) 日高隆雄, 津田 博, 齋藤 滋, 喜多敏明, 柴原直利, 寺澤捷年: 漢方外来を当院産婦人科に開設して—更年期障害に対する漢方治療の効果について—. *産婦人科漢方研究のあゆみ* 18:60-63, 2001.
- ◆ 総 説
- 1) 伊藤 隆: 喘息 日本漢方の立場から見た気管支喘息の治療. *日本東洋医学雑誌* 51(4):688-694, 2001.
 - 2) 伊藤 隆, 寺澤捷年, 栗山 勝, 嶋田 豊: 医学生に対する漢方医学集中講義の教育効果. *日本東洋医学雑誌* 51(5):1109-1116, 2001.
 - 3) 伊藤 隆: 咳・痰・呼吸困難に対する漢方治療. *漢方と最新治療* 10:25-30, 2001.
 - 4) 喜多敏明, 寺澤捷年: 高齢者と漢方. *臨床と研究* 78(2):304-308, 2001.
 - 5) 喜多敏明, 寺澤捷年: 保存療法の適応と限界 漢方医学, 特集: 高齢者の腰痛—診断から治療まで—. *MB Orthop.* 14(12):42-45, 2001.
 - 6) 喜多敏明, 寺澤捷年: 漢方医学から見た老化. *HUMAN SCIENCE* 12(5):21-24, 2001.
 - 7) 喜多敏明: やさしい漢方理論10—肝・心・腎の陽気, 気逆の病態—. *実地医科のためのTHE KAMPO* No.10:20-23, 2001.
 - 8) 喜多敏明: やさしい漢方理論11—対人行動と五臓の働き, 否定的感情と心理的葛藤の病態—. *実地医科のためのTHE KAMPO* No.11:26-29, 2001.
 - 9) 喜多敏明: やさしい漢方理論12—闘病反応と五臓の働き, 少陽病期の病態—. *実地医科のためのTHE KAMPO* No.12:16-19, 2001.
 - 10) 寺澤捷年, 柴原直利, 田原英一, 長坂和彦, 川俣博嗣, 引網宏彰, 土佐寛順: 高齢者と薬物—漢方薬—. *寝たきりの予防と治療*, 212-216, 2001.
- ◆ 症例報告
- 1) Shimada Y., Kogure T., Goto H, Sakai S., Sekiya N., Mantani N. and Terasawa K.: A case of rheumatoid arthritis complicated by bucillamine-induced nephropathy satisfactorily treated with Kampo medicines. *J. Trad. Med.* 18:122-126, 2001.
 - 2) 後藤博三, 籠浦正順, 嶋田 豊, 小暮敏明, 諸橋正昭, 寺澤捷年: 西洋医学的治療に和漢薬治療を併用し良好に経過している菌状息肉症の1例. *日本東洋医学雑誌* 52(2):207-216, 2001.
 - 3) 柴原直利, 関矢信康, 谷川聖明, 笠原裕司, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 分消湯が奏効した巣状糸球体硬化症によるネフローゼ症候群の1症例. *日本東洋医学雑誌* 52(3):325-333, 2001.
 - 4) 関矢信康, 喜多敏明, 小暮敏明, 柴原直利, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 四味膠艾湯加味が奏効した絨毛膜下血腫の1症例. *日本東洋医学雑誌* 52(3):341-345, 2001.
- ◆ 学会報告
- 1) Goto H.: Evaluation of Herbal Extracts in Japan. The 2001 Periodical Spring Conference of The Korea Society for Oriental Internal Medicine. 2001, 5, Gwang-Ju, Korea.
 - 2) 柴原直利, 喜多敏明, 萬谷直樹, 関矢信康, 寺

- 澤捷年：麻黄連軀赤小豆湯加減方が有効であった皮膚疾患の3例。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
- 3) 喜多敏明，柴原直利，伊藤 隆，伏見裕利，萬谷直樹，寺澤捷年：情感の性格特性と有効方剤との関係。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 4) 後藤博三，嶋田 豊，寺澤捷年，三瀨忠道，新谷卓弘，長坂和彦，後藤壯一郎：無症候性脳血管障害に対する桂枝茯苓丸の短期効果の検討。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 5) 伊藤 隆，柴原直利，喜多敏明，萬谷直樹，関矢信康，寺澤捷年：慢性喘息患者における麦味地黄丸料証と八味地黄丸証の鑑別に関する検討。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 6) 嶋田 豊，後藤博三，小暮敏明，酒井伸也，関矢信康，萬谷直樹，柴原直利，寺澤捷年：漢方医学的腹候と消化器症状との関連性についての検討。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 7) 曹 基湖，後藤博三，嶋田 豊，寺澤捷年：脳卒中発症初期患者に対する星香正気散の有用性の検討。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 8) 谷川聖明，立野 豊，小暮敏明，後藤博三，寺澤捷年：加味帰脾湯投与により副腎皮質ホルモン剤の減量が可能となった特発性血小板減少性紫斑病の2例。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 9) 関矢信康，喜多敏明，小暮敏明，嶋田 豊，寺澤捷年：四味膠艾湯が奏効した絨毛膜下血腫の1症例。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 10) 久永明人，伊藤 隆，喜多敏明，横山浩一，嶋田 豊：緑内障を合併した不眠・抑うつが附子瀉心湯で寛解した1例。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 11) 貝沼茂三郎，小暮敏明，後藤博三，嶋田 豊，寺澤捷年：桂枝赤丸料の使用経験。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 12) 地野充時，長山紀子，新谷卓弘，喜多敏明，寺澤捷年：漢方処方決定のための心理検査の利用法について。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 13) 巽 武司，嶋田 豊，柴原直利，小暮敏明，寺澤捷年：高血圧症に明朗飲が有効であった1例。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 14) 萬谷直樹，小暮敏明，貝沼茂三郎，嶋田 豊，伊藤 隆，寺澤捷年：リンパ球幼若化試験陽性のため漢方薬による肝障害が疑われた自己免疫性肝疾患の2例。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 15) 野崎和也，渡辺哲郎，横山浩一，関矢信康，寺澤捷年，伊藤 隆：抵当丸・抵当湯の使用経験。第52回日本東洋医学会総会，2001，6，札幌。
 - 16) 久永明人，伊藤 隆，長谷川雄介，江守賢次，喜多敏明，岡部彰人，倉知正佳：睡眠時窒息症候群と考えられ半夏厚朴湯が有効であった1例。日本睡眠学会第26回学術総会，2001，6，東京。
 - 17) 後藤博三：和漢薬治療により良好に経過している糖尿病性腎症の3症例（奨励賞受賞講演）。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 18) 喜多敏明：性格・心理テストによる証の解析（シンポジウム）。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 19) 柴原直利，関矢信康，森崎龍郎，伏見裕利，小暮敏明，後藤博三，喜多敏明，嶋田豊，寺澤捷年：脈診・気血水病態と橈骨動脈圧波形との関連性（ミニシンポジウム）。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 20) 嶋田 豊，横山浩一，後藤博三，榊原 巖，酒井伸也，萬谷直樹，関矢信康，寺澤捷年：培養ラット小脳顆粒細胞におけるNO-donor誘導神経細胞死に対する釣藤鈎の保護作用（ミニシンポジウム）。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 21) 柴原直利，関矢信康，伏見裕利，後藤博三，喜多敏明，嶋田豊，寺澤捷年：気血水病態と橈骨動脈圧波形との関連性について。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 22) 伏見裕利，柴原直利，喜多敏明，後藤博三，寺澤捷年，難波恒雄，小松かつ子：漢薬「滑石」の品質評価に関する研究（2）。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 23) 森崎龍郎，柴原直利，関矢信康，小暮敏明，後藤博三，嶋田豊，寺澤捷年：脈診と橈骨動脈圧波形との関連性について。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 24) 笠原裕司，後藤博三，嶋田 豊，関矢信康，楊喬，寺澤捷年：自然発症高血圧ラット摘出血管のラジカル誘発収縮に対する桂枝茯苓丸の収縮抑制効果。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 25) 赤尾光昭，坂東みゆ紀，後藤博三，寺澤捷年：小柴胡湯経口投与後のラット及びヒト血中バイカリン主代謝物バイカレイン-6-O-グルクロニド。第18回和漢医薬学会大会，2001，8，富山。
 - 26) 松浦 伸，伏見裕利，小暮敏明，後藤博三，柴原直利，嶋田 豊，寺澤捷年：煎じに用いた生薬

- の吸水量に関する検討. 第18回和漢医薬学会大会, 2001, 8, 富山.
- 27) 喜多敏明: 駆瘀血剤の血清脂質・血液循環に対する影響(基礎)(シンポジウム). 第21回産婦人科漢方研究会学術集会, 2001, 9, 東京.
- 28) 伏見裕利, 柴原直利, 喜多敏明, 後藤博三, 小松かつ子, 寺澤捷年: TaqMan Assay法を用いた新生薬同定法の開発. 日本生薬学会第48回年会, 2001, 9, 金沢.
- 29) 佐々木陽平, 伏見裕利, 小松かつ子, 曹 暉: Curcuma属植物の分子系統学的解析と鬱金類生薬の品質に関する研究(1) 生薬の遺伝子解析と同定法の開発. 日本生薬学会第48回年会, 2001, 9, 金沢.
- 30) 楊 冬野, 伏見裕利, 小松かつ子, 蔡 少青: Rheum属植物の分子系統学的研究(1) 形態とtrnK遺伝子の塩基配列. 日本生薬学会第48回年会, 2001, 9, 金沢.
- 31) Tanikawa, K., Goto, H., Tatsuno, Y. and Terasawa, K.: Endothelium-dependent vasodilator effect of tannin extract from Cinnamomi Cortex on isolated rat aorta. The 11th International Congress of Oriental Medicine, 2001, 10, Seoul, Korea.
- 32) Shimada, Y., Goto, H., Kogure, T., Sakai, S., Mantani, N., Sekiya, N. and Terasawa K.: Protective effect of extract prepared from the Bark of Cinnamomum cassia Blume on glutamate-induced neuronal death in cultured cerebellar granule cells. The 11th International Congress of Oriental Medicine, 2001, 10, Seoul, Korea.
- 33) Sakai S., Ochiai H., Mantani N., Kogure T., Shibahara N. and Terasawa K.: Administration of isoferulic acid improved the survival rate of lethal influenza virus pneumonia in mice. The 11th International Congress of Oriental Medicine, 2001, 10, Seoul, Korea.
- 34) Tahara E., Satoh T., Nagai H., Shimada Y., Itoh T., Terasawa K. and Saiki I.: Difference between Yokukan-san (A Kampo medicine) and Diazepam on triphasic cutaneous reaction in socially isolated mice. The 11th International Congress of Oriental Medicine, 2001, 10, Seoul, Korea.
- 35) 伏見裕利, 難波恒雄, 柴原直利, 寺澤捷年, 小松かつ子: 漢薬「滑石」の品質評価に関する基礎研究. 21世紀国際生薬学研究戦略目標シンポジウム, 2001, 10, 北京, 中国.
- 36) 柴原直利: 瘀血病態と自律神経機能との関連性についての研究(奨励賞受賞講演). 第27回日本東洋医学会北陸支部例会, 2001, 10, 富山.
- 37) 喜多敏明: 漢方からみた頭痛のコントロール(シンポジウム). 第29回日本頭痛学会総会, 2001, 11, さいたま.
- ◆ その他
- 1) 伊藤 隆: 現代医療における漢方治療の役割. 筑豊漢方研究会特別講演会, 2001, 1, 飯塚.
- 2) 喜多敏明: 証の心理的側面. たんぽぽ会, 2001, 1, 西宮.
- 3) 伊藤 隆, 嶋田 豊, 喜多敏明: 症例検討・漢方診断法. 北陸地区漢方カンファレンス, 2001, 1, 富山.
- 4) 伊藤 隆: 漢方と高齢者—元気になる医療—. 茨城県民健康セミナー, 2001, 2, ひたちなか.
- 5) 柴原直利: 消化器疾患の漢方治療. 呉西地区漢方懇話会, 2001, 2, 高岡.
- 6) 喜多敏明: 漢方概論・臨床?・臨床?・漢方診断の実際. 常総漢方入門セミナー, 2001, 2, 水戸.
- 7) 伊藤 隆: 漢方とのつきあい方. 富山県経営者協会・県東部地区会員懇談会, 2001, 3, 魚津.
- 8) 伊藤 隆: 消化器系慢性不定愁訴に対する漢方治療. 漢方実践講座, 2001, 3, 沼津.
- 9) 喜多敏明: 脳と心と証. 大阪医大漢方研究会, 2001, 3, 高槻.
- 10) 柴原直利: アレルギー疾患の漢方治療. 実践漢方診療講座, 2001, 3, 富山.
- 11) 柴原直利: 漢方概論(気血水)・補剤による漢方治療・漢方実技. 漢方ステップアップセミナー in 神戸, 2001, 3, 神戸.
- 12) 喜多敏明: 漢方概論(虚実・寒熱・陰陽)・不定愁訴の治療・漢方実技. 漢方ステップアップセミナー in 神戸, 2001, 3, 神戸.
- 13) 喜多敏明: 脳血管障害と漢方—釣藤散を中心に—. 兵庫県医師会学術講演会, 2001, 5, 神戸.
- 14) 柴原直利: 漢方診断実習. 若手医師のための漢方医学講座, 2001, 6, 福岡.
- 15) 後藤博三: 瘀血病態の東西医学的解明. 平成13年度東洋医学会神奈川県部会学術講演会, 2001, 7, 横浜.
- 16) 柴原直利: 漢方概論(気血水)・消化器疾患の漢方治療・診察方法の実際. 金沢漢方入門集中講座, 2001, 7, 金沢.

- 17) 喜多敏明：漢方概論（虚実・寒熱・陰陽）・不定愁訴の漢方治療・診察方法の実際. 金沢漢方入門集中講座, 2001, 7, 金沢.
- 18) 柴原直利：漢方とEBM. 和漢薬研究所夏期セミナー, 2001, 8, 富山.
- 19) 喜多敏明：性格・心理テストによる証の解析. 第二回台湾・日本臨床漢方シンポジウム, 2001, 8, 台湾.
- 20) 柴原直利, 喜多敏明：漢方中級解説・漢方診断実習・症例検討. 南九州漢方医学ステップアップセミナー, 2001, 9, 宮崎.
- 21) 後藤博三：脾と腎に関連した症例の検討. 実践漢方診療講座・呉東地区漢方研究会, 2001, 9, 富山.
- 22) 柴原直利：自律神経と漢方. 富山漢方会, 2001, 10, 富山.
- 23) 柴原直利：漢方医薬学の教育 富山医科薬科大学の研修プログラム. 和漢薬研究所特別セミナー, 2001, 10, 富山.
- 24) 柴原直利：自律神経と東洋医学. 全日本鍼灸学会第1回北陸支部学術集会, 2001, 10, 富山.
- 25) 喜多敏明：産婦人科診療における漢方療法. 富山県産婦人科医学会学術研修会, 2001, 10, 富山.
- 26) 後藤博三：陰陽虚実に関連した症例の検討. 実践漢方診療講座・呉東地区漢方研究会, 2001, 11, 富山.
- 27) 伊藤 隆：茨城県民健康セミナー. 2000, 3/14, 茨城新聞.

薬効解析センター

センター長 谿 忠人 (教授・博士(薬学))
 助 教 授 小 松 かつ子 (薬学博士)
 助 手 東 田 千 尋 (博士(薬学))
 客員教授 Meselhy Ragab Meselhy (博士(薬学))
 客員助教授 Javed Ahmad (理学博士)

◆ 著 書

- 1) 小松かつ子, 東田千尋：民族薬物の謎を追って. 「薬用植物・生薬開発の最前線」佐竹元吉監修, 278-298, シーエムシー, 東京, 2001.

◆ 原 著

- 1) Komatsu K., Zhu S., Fushimi H., Qui T. K., Cai S.Q., and Kadota S.: Phylogenetic Analysis Based on 18S rRNA Gene and *matK* Gene Sequences of *Panax vietnamensis* and Five Related Species. *Planta Med.*, 67:461-465, 2001.
- 2) Chen J.C., Komatsu K., Namba T., Yoshizawa T., and Yamaji S.: Pharmacognostical Studies of the Swertiarum Herbae (1), On Chinese Folk Medicines “Zhangyacai (獐牙菜)” and “Qingyedao (青葉胆)” Derived from the Plants of Sect. *Ophelia*. *Nat. Med.*, 55: 165-173, 2001.
- 3) Basnet P., Yasuda I., Kumagai N., Tohda C., Nojima H., Kuraishi Y., and Komatsu K.: Inhibition of Itch-scratch response by fruits of *Cnidium monnieri* In mice. *Biol. Pharm. Bull.*, 24:1012-1015, 2001.
- 4) 伏見裕利, 難波恒雄, 小松かつ子：漢薬「滑石」の品質評価に関する基礎研究. *Nat. Med.*, 55: 193-200, 2001.
- 5) Cao H., Sasaki Y., Fushimi H., and Komatsu K.: Molecular Analysis of Medicinally-Used Chinese and Japanese *Curcuma* Based on 18S rRNA Gene and *trnK* Gene Sequences. *Biol. Pharm. Bull.*, 24:1389-1394, 2001.
- 6) Tohda C., Sasaki M., Konemura T., Sasamura T., Itoh M., and Kuraishi Y.: Axonal transport of VR1 capsaicin receptor mRNA in primary afferents and its participation in inflammation-induced increase in capsaicin sensitivity. *J. Neurochem.*, 76:1628-1635, 2001.
- 7) Ouyang X.S., Takahashi K., Komatsu K., Nakamura N., Hattori M., Baba A., and